



北海道ITコーディネータ協議会

*20th
Anniversary*

設立20周年記念誌

～DX時代のイノベーションをリードする～

ITコーディネータ (ITC) は、経営者の立場に立って、経営とITを融合し、
真に経営に役立つITサービス利活用の推進・支援を行い、
IT経営を実現するプロフェッショナルです

2022年[令和4年]10月

20th
Anniversary



会長挨拶



ITC
Hokkaido

北海道ITコーディネータ協議会

北海道 IT コーディネータ協議会の設立 20 周年を迎えて

北海道 IT コーディネータ協議会
会長 市村 淳一



北海道 IT コーディネータ協議会（ITC 北海道）は設立 20 周年の節目を迎えることが出来ました。

10 周年以降の事業展開では、札幌圏以外にも ITC はこだて（道南支部）、ITC 十勝（十勝支部）、ITC くしろ（釧路支部）、ITC 苫小牧（胆振支部）の各地域支部組織を構成し、広大な地域において“点”と“点”が“線”で繋がり、地域間ネットワークの構築を図りました。そして、毎年のように道内主要都市にて IT 経営カンファレンスを開催してまいりました。

これらの事業を大きく発展できたのは、歴代会長を始め当協議会会員の皆様、地域の自治体や支援機関各位のご支援ご協力によるものと心より感謝申し上げます。

さて、世の中に目を移しますと、今般の新型コロナウイルスの感染拡大やロシアによるウクライナ侵攻を契機に消費者を取り巻く社会環境や日常生活は大きく変化しました。リーマンショックや東日本大震災以上の経済的インパクトをもたらし、想定外の環境変化に翻弄されています。

しかしこれらの変化は同時に、デジタル化の進展や働き方改革に伴うワークスタイルの変化等、その影響を受けて加速したという側面もあります。

そのような傾向から北海道においても DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進する動きが見られ、経営者の立場に立ち変革意識を持ちながら IT を経営の力とする伴走型支援は ITC の役割そのものであり、今まで以上に期待が高まっています。

これからは社会環境とともに変化する経営環境にすばやく順応する必要があります。時代に合った経営革新・業務改革のニーズを地域の自治体や関係支援機関との連携を今以上に強化しながら、繋がった“線”を“面”にして中小企業・小規模事業者を広く支援できる組織を築きたいと考えます。

受け継がれた ITC 北海道の理念と存在意義を高め、北海道経済の発展に貢献できるよう尽力いたしますので、今後ともより一層のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

道内企業の「DX 戦略」策定を支援する DX 推進者として期待にお応えできるよう、私自身も邁進することをお誓い申し上げ、20 周年記念誌発行に際しての挨拶とさせていただきます。

20th
Anniversary



ご祝辞



ITC
Hokkaido

北海道ITコーディネータ協議会

北海道 IT コーディネータ協議会設立 20 周年に寄せて



経済産業省北海道経済産業局長
岩永 正嗣

IT コーディネータ協議会が設立 20 周年を迎えられますことを、心からお慶び申し上げます。

IT コーディネータ認定制度は、経済産業省の提唱により 2001 年に創設されたものであり、これまで約 6,300 名以上が IT コーディネータとして認定され、全国各地で活躍されております。

貴協議会は、制度開始とともに発足され、これまでの 20 年間において、道内における IT コーディネータ制度の普及啓発を図るとともに、講習会の開催などによる、「経営」と「IT」の橋渡しを積極的に実施してこられ、道内企業の発展に多大な貢献をされてきました。

この間の市村会長をはじめ、歴代役員及び会員の皆様方の御尽力に対して、深く敬意を表します。

また、北海道経済産業局がこの間推進してきた、道内企業の IT 導入支援などの取組において、貴協議会との連携のもと、IT コーディネータの方々に多大な御協力をいただきましたことに対し、改めて感謝を申し上げます。

さて、昨今、新型コロナウイルス感染症やロシアによるウクライナ侵略などの影響により、我が国経済は先行き不透明な状況が続いております。

このような中、経済産業省では、大きな経済社会環境の変化の潮流において、持続可能な経済成長を実現するために、デジタル、グリーン、人材、科学技術などを重点分野と定め、様々な政策を実施しております。

これら政策を実現するための方策の一つとして、地域企業の DX（デジタル・トランスフォーメーション）の実現を地域ぐるみで支援する体制整備の促進、地域で活躍する人材の獲得・育成等を行っております。

当局では、こうした中、2022 年度から関係機関と連携の上、「北海道 DX 推進協働体」を組織し、道内中小企業の DX を強力に推進しているところであり、本協働体の取組を実りあるものとするために、貴協議会とのパートナーシップが重要だと考えております。

今後、企業経営のみならず、より良い社会の実現に向けてデジタルが果たす役割は高まってまいります。

貴協議会が様々な場面において、デジタル化・DX を推進する中核的な組織として、会員の皆様方とともに更なる飛躍と発展を遂げられることを心から祈念申し上げます。

「20周年記念誌」発刊に寄せて



北海道知事 鈴木 直道

北海道 IT コーディネータ協議会が創立 20 周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴協議会におかれましては、平成 13 年の設立以来、企業や団体への戦略的な IT 投資の支援活動を積極的に行われ、地域産業へのデジタル技術の普及はもとより、IT 産業の振興に大きく貢献されてきました。市村会長をはじめ歴代役員並びに会員の皆様のご尽力に対し、深く敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症の流行が長期にわたり、さらには、不安定な国際情勢などを背景に、エネルギーや原材料等の価格が高騰するなど、道内企業を取り巻く経営環境は、大変厳しい状況にあります。

企業の皆様が、こうした課題に対応しながら、ポストコロナを見据え、新たな取組に攻めの視点で挑戦していくためには、生産工程の自動化や非接触・非対面サービス、スマート農林水産業や自動運転など、デジタル技術の活用が必要であり、企業に寄り添い、一緒に未来を描き、IT の力で変革を導く IT コーディネータの果たす役割はますます大きくなっていくものと考えています。

道といたしましては、コロナ禍による人々の考え方や行動の変化を背景に、積雪寒冷の気候や広域分散型の地域構造など、これまで本道のハンディとされてきた特性を強みに変えるとともに、デジタル化や脱炭素化といった社会変革の動きを的確に捉え、「デジタルにより、暮らしや産業、そして、地域を変えていく」という発想で、地域の実情を踏まえたデジタル化の取組を加速してまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様におかれましては、創立 20 周年を契機に、デジタル社会の実現に向けた牽引役として、関係の皆様との連携を一層深め、ますます積極的な活動を展開されますことをご期待申し上げます。

結びに、北海道 IT コーディネータ協議会のますますのご発展、並びに皆様のご健勝とご活躍を心から祈念し、お祝いのことばといたします。

北海道 IT コーディネータ協議会創 20周年に寄せて



札幌市長 秋元 克広

北海道 IT コーディネータ協議会が創立20周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

北海道 IT コーディネータ協議会は、平成13年の創立以来、北海道における IT コーディネータ制度の普及促進、企業等の IT 化支援活動に精力的に取り組まれ、地域産業における IT 利活用の浸透はもとより北海道経済の発展に大きく貢献してこられました。

これもひとえに市村会長をはじめ歴代役員並びに会員の皆様のたゆみない努力の賜物であり、深く敬意を表します。

札幌市としても、中小企業の IT 利活用の促進に向けた様々な取組を展開する中、北海道 IT コーディネータ協議会及び IT コーディネータの皆様には、普及啓発活動や企業への専門家派遣相談をはじめ多大なるお力添えをいただいておりますことに、改めて感謝を申し上げます。

本年8月に、札幌市は市制施行100周年という大きな節目を迎えました。次なる100年を見据え、市内経済を牽引する IT 産業の振興への重点的な支援、地域企業の競争力強化に向けた DX の推進に一層注力してまいります。

これらの施策の推進にあたり、北海道 IT コーディネータ協議会の皆様とは連携を図りながら取り組んでまいりたいと考えておりますので、引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

結びに、北海道 IT コーディネータ協議会の限らないご発展、そして、会員の皆様のますますのご健勝を心からお祈りいたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

20周年記念誌の発刊によせて



函館市長 工藤 壽樹

北海道 IT コーディネータ協議会の創立 20 周年に際し、心からお慶び申し上げます。

平成 13 年の創立以来、北海道 IT コーディネータ協議会におかれましては、北海道内での IT コーディネータ制度の普及啓発や人材育成、中小企業におけるシステム導入のサポートなど、IT 投資と利活用の推進・支援とともに IT 産業の振興に多大なる貢献をされてきました。

特に函館市においては、平成 30 年度から実施している「IT 活用による生産性向上支援事業」にご協力いただいております。IT コーディネータの皆様には、企業経営と IT 双方の専門家として、市内の中小企業が IT 導入する際の効果的なアドバイスをいただくなど、市内中小企業の経営改善にご尽力いただいておりますことに改めて感謝申し上げます。

さて、時代は、日本が目指すべき未来社会である society5.0 に向けて大きく移り変わろうとしております。これまで進めてきた IT の導入、IoT による部分最適化や生産性向上といった取り組みを経て、現在は、あらゆることを変革し、競争上の優位を確立しようとする DX の取り組みが中心となってきております。

こうしたことを踏まえ、本市では中小企業の DX を後押しするため普及啓発に努めているところでありますが、今後においても DX 人材の活用支援や DX 戦略策定に向けた伴走型支援など、より一層、市内中小企業の DX を推進していく必要があると考えており、これらの事業の推進にあたっては、IT コーディネータの存在は非常に頼もしく、そのご活躍に期待しているところであります。

結びに、北海道 IT コーディネータ協議会の、今後益々のご発展と会員の皆様のご健勝を心から祈念申し上げます。20 周年記念誌発刊によせてのお祝いの挨拶といたします。

創立 20 周年 新たな時代へ



釧路市長 蝦名 大也

北海道 IT コーディネータ協議会が、創立 20 周年の記念すべき節目を迎えられ、協議会 20 年の歩みを記した記念誌が発刊されますことに心からお祝い申し上げます。

平成 13 年の協議会発足以来、北海道における IT コーディネータ制度の普及促進、関係機関との協調による経営と IT に関する諸問題を専門的に研究、実践することに取り組まれ、北海道経済の発展に大きくご貢献されてこられましたことに、心から敬意を表しますとともに、深く感謝を申し上げます。

また、釧路市における地域課題の解決や市内企業の DX 推進に向けて、日々お力を賜っておりますことに、重ねてお礼申し上げます。

現在、多くの地方都市では人口減少問題を抱えており、特に若年人材の流出が地域経済に大きな影響を与えております。一方で、場所にとらわれない働き方を取り入れる企業が増えつつあり、地方移住への興味が高まっていると言われております。とりわけ IT 人材は多様な働き方に相性がよいとされており、こうした人材を確保するためにも、地域内での IT 化を推進していく機運の醸成、IT 人材の育成などが急務となっております。

このような情勢の中、貴会の役割は今後ますます重要になってくると考えるところであり、釧路市におきましても、皆様方のお力添えを賜りながら、自治体 DX をはじめとする各種施策の推進に取り組んでまいり所存です。

結びにあたり、北海道 IT コーディネータ協議会の一層のご発展と会員皆様方のご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

創立 20 周年を祝して



帯広市長 米沢 則寿

北海道 IT コーディネータ協議会が、創立 20 周年を迎えられますことを心からお祝い申し上げます。

貴協議会は、平成 13 年の設立以来、道内における IT コーディネータ制度の普及促進に努められるとともに、平成 24 年には十勝支部となる ITC 十勝を立ち上げ、十勝地域の企業や生産者等への IT 導入支援を通じて、基幹産業である農業分野への IT 技術の普及はもとより、地域産業の振興に大きな役割を果たしてこられました。

これも市村会長をはじめ役員並びに会員の皆様が、日頃よりたゆまぬ努力を積み重ねてこられた賜物であり、心から敬意を表します。

さて、この十勝では平成 22 年から、「フードバレーとがち」を旗印に農業や食、自然など地域の強みを活かした産業振興をオール十勝で推進しています。この間、基幹産業である農業を見ると、小麦や馬鈴薯、てん菜、小豆は全国トップクラスの生産量を誇るなど、日本の食料供給基地としての存在感が高まっています。

その要因として、大型機械による大規模農業化に加え、GPS による自動運転トラクターやドローン、IT システムの導入など情報技術を活かした効率性の高い農業生産が挙げられ、IT 技術が十勝の農業の発展に大きく寄与しているものと考えています。

一方、近年の農業は地球温暖化の影響のほか、少子高齢化や後継者不在による労働力不足などの課題に直面しており、十勝農業の持続的な発展には、IT を活用したスマート農業の更なる普及が求められています。

こうした中、“経営者の視点に立ち、企業や生産者と IT の橋渡しをし、IT 経営を支援・推進するプロフェッショナル”として IT コーディネータの皆様が担う役割は、農業のみならず様々な分野で今まで以上に重要になってまいります。今後も、皆様のご活躍にご期待を申し上げる次第です。

結びになりますが、北海道 IT コーディネータ協議会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を心からご祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。

祝！北海道 IT コーディネータ協議会「20周年」

特定非営利活動法人 IT コーディネータ協会
会長 野村 真実



このたびは20周年を迎えられ、誠におめでとうございます。

この日を迎えられたのは、IT コーディネータの人材輩出および地域活性化の活動を邁進して来られた協議会の皆様の並々な御尽力の成果とお慶び申し上げます。

また平素は当協会の活動につきまして、ご指導・ご助言を賜り、厚く御礼を申し上げます。

VUCA と呼ばれる大変革の時代である今、正に求められる人材として、IT コーディネータが着目されておりますが、皆様の活躍が世に認められた結果だと思っております。

ITC 協会も下記の新しいビジョンを掲げ、更なる社会貢献にチャレンジしていきます。

「IT コーディネータ制度に関わるすべての方々の物心両面における幸福を追求し、
日本の中小企業・団体が、IT を経営の力として活かし、発展することに貢献する」

これからも貴協議会の IT 経営・DX 推進を目指す道内事業者を支援する活動に期待しています。是非、輝かしい未来をともに創造していきましょう。

以上、貴協議会のますますの発展と会員の皆様の御健勝を祈念してお祝いの言葉といたします。

北海道 IT コーディネータ協議会設立 20 周年に寄せて

北海道大学大学院経済学研究院・教授

北海道大学地域経済経営ネットワーク研究センター長

平本 健太



北海道 IT コーディネータ協議会が設立 20 周年を迎えられますこと、心よりお祝い申し上げます。

協議会設立 10 周年以降の 10 年間で、クラウドコンピューティング、Web3.0、XaaS など、IT をめぐる新たな概念が次から次へと数多く登場しました。近年では、経済産業省が旗振り役となって DX の推進も叫ばれています。

IT の専門家にとってはごく当たり前の概念であっても、必ずしも IT に明るくない経営者やビジネス・パートナーにとっては、その実態は分かりづらく、ともすれば言葉だけが踊っているかのような印象さえ抱いてしまいます。わたしが所属する大学においても、DX が重要課題のひとつとして認識されています。でも、具体的に何をどうすれば良いのか、そもそも、どこから手を付ければいいのかという現場の実践に目を向けると、残念ながら、攻めあぐねているように見受けられます。

わたしはこれまで、IT 利活用、デジタル化推進、あるいは DX モデル創出など、行政による IT 関連の補助事業の審査委員をいくつか務めて参りました。そうした審査を通して感じるのは、IT の専門家である IT ベンダーと、IT ユーザーにすぎない企業（事業者）とのコミュニケーションが不十分だと、決して有効なソリューションには到達しないという点です。IT そのものが急速に高度化していく現代だからこそ、現場のニーズを十分に理解した上で、そのニーズを満たすための効果的・効率的な IT ソリューションの提案が出来る「目利き人材」の必要性がますます重要になります。ビジネス・教育・行政などの「現場」における切実なニーズと、日々進化する IT との間の橋渡しを行い、効果的なソリューションを提案する役割として、IT コーディネータの重要性が従前以上に大きくなっているのです。

IT コーディネータに対する期待と需要が、間違いなくますます高まる次の 10 年において、北海道 IT コーディネータ協議会がいつそう発展し、より豊かな北海道の実現のために大きな役割を担われますことを心より祈念申し上げます。

20th
Anniversary



他地域 ITC からのご祝辞と 所属 ITC からの寄稿



ITC
Hokkaido

北海道ITコーディネータ協議会

「20周年記念誌」発刊に寄せて

(NPO) ITコーディネータ協会 理事
(NPO) ITコーディネータ沖縄 理事
安谷屋経営コンサルティングオフィス 代表 安谷屋盛広



北海道ITコーディネータ協議会が創立20周年を迎えられますことを心からお祝い申し上げます。

北海道ITコーディネータ協議会は、平成13年の設立以来、北海道におけるITコーディネータ制度の普及促進と活用を図り、情報化を進めたい中小企業とIT企業の橋渡し役として、地域の情報化やIT利活用促進の牽引役としてご尽力いただきました。また情報化投資を戦略的に進める視点や考え方を広く伝搬することで、地域産業へのIT技術の発展、普及に大きく貢献されました。

これもひとえに、市村会長をはじめ歴代の役員並びに会員の皆様のたゆみない努力の賜物であり、深く敬意を表します。

今までよりも早いスピードで大きな変化が起こり、また、将来の予測が極めて困難と言われる現代は、VUCA（ブーカ）時代と言われています。VUCA時代を生き抜いていくにはどうすればいいのか、この問題は、多くの企業や組織、個人が注目しています。

変化の激しい時代、状況に適した戦略的なIT導入が求められることはもちろん、時代に即したIT人材を育成していくには組織としてもとても重要な課題です。地方で活動するITコーディネータとして取り組み状況の共有、事例共有などを中心に一緒に取り組んでいきたいと思っております。※R3.10.15 IT経営カンファレンス2021 in 函館では、沖縄のDXへの取組事例について情報共有する機会をいただきありがとうございました。

今後も経営者の立場に立ち、企業とITの橋渡し役として経営に役に立つ、IT利活用方法の伝搬、推進役として、プロフェッショナルとして活躍されているITコーディネータの重要性はますます高まっていくものと考えられます。

皆様におかれましては、この記念すべき20周年を更なる挑戦と発展の出発点としていただき、これまで以上に精力的な活動、取り組みで活動を充実させて、豊かで活力ある地域社会の実現に向けて、地域経済の牽引役として、ますます活躍されますことを心から期待しております。

終わりに北海道ITコーディネータ協議会の一層のご発展と会員の皆様のご健勝を心からご祈念申し上げ、お祝いの言葉とします。

創立 20 周年によせて

非営利活動法人 ITコーディネータ協会 理事

非営利活動法人 ITC愛媛 理事

KAZUZAP 代表 渡部一恵



北海道IT コーディネータ協議会が創立 20 周年を迎えられますことを心からお慶び申し上げます。

私と皆様との出会いは 2016 年 2 月に行われた「第 4 回札幌イノベーションセミナー」でした。大雪で、もしかしたら飛行機が引き返すかもと言われ、ドキドキしながら初めての北海道に降り立ちました。

セミナー後に開かれた勉強会に参加し、協議会の皆様とお話をさせていただきました。北海道地域ならではの悩みや、IT の需要や新しい技術について、定期的な勉強会とは思えないほど内容も濃く、皆さんの熱のある積極的な発言に感動致しました。

私の住んでいる愛媛県から北海道は遠いですが、コロナ禍に入りオンラインを活用することで、距離を全く感じなくなりました。北海道でのケース研修にもゲストスピーカーで登場させていただきましたし、各種セミナーも定期的に受講しています。今の欲しい情報をいち早く学ばせていただいています。

ITコーディネータは、全国の仲間とネットワークでつながっています。PGL(プロセスガイドライン)という共通の言語がある事も重要だと考えます。同じ想い、同じ言葉で話せるからこそ、繋がる事が出来るのだと思います。それぞれの住む場所も環境も、年齢も経験も違う集まりですが、ITコーディネータとしての仲間であることが力となり勇気になります。

AI、IoTさらにはDXと、時代において求められる課題解決技術は変わってまいります。ITコーディネータはその時代の中で、今後ますます社会から期待されてまいります。互いに協力のもと、これらの期待に応えていける人材を目指し、これからも進まれていく事を期待しています。

皆様とともに創立 20 周年を迎えられたことをお祝い 申し上げ、ますますの飛躍と 発展、関係する皆様の御健勝を祈念して挨拶とさせていただきます。

人材戦略としての IT 利活用の必要性

社会保険労務士法人 MIKATA
ワーク&ライフインテグレーション株式会社
代表取締役 本間 あづみ



私が IT コーディネータになろうと思ったきっかけは、2019 年から順次施行されている働き方改革です。社会保険労務士事務所として顧問先に働き方改革を支援していくうえで、IT 利活用が欠かせないと実感したからです。弊社はお客様に提案する前に自社でも実践してみる！がポリシーなので、2014 年からテレワークを導入、2019 年からはクラウド化の促進、RPA の導入にチャレンジしてきました。

現在、私を含め 11 名の内 7 名が育児との両立をしながら仕事をしていますが、子供達の急な発熱やコロナによる学級閉鎖等にお休みすることなくテレワークを活用、職員自身の傷病時にも通勤をせずに体調を見ながら療養とテレワークを併用することで離職防止に繋がっています。また、RPA の導入によりルーチン作業が大幅に削減、弊社では 5 名が週休 3 日制や短時間の正社員です。テレワークの導入により優秀な人材の離職を防ぐことができ、クラウド化の促進等によりテレワークはもとより、通常業務も格段に実施しやすく効率的になりました。

やはり働き方改革には IT の利活用が欠かせないと身をもって実感した私は、そのことを多くの中小企業の経営者に理解して頂き、IT 経営を実現していくための懸け橋にならなければと思い至り IT コーディネータの資格を取得しました。

労働生産人口の減少が急速に進むなか、既に多くの中小企業で人材不足の影響が出始めています。働き方改革だけではなく、人材戦略としても IT を活用しなければ企業は生き残っていきません。今いる人材がもっと働きやすく人が集まる魅力的な職場作になるため、ワークライフバランスを確保して健康に柔軟に働くため、傷病や子育て・介護などとの両立を可能とするためにも、テレワークをはじめとした IT 利活用を更に進めていく必要があると強く感じています。

今後は社労士としての人事労務分野に加え、IT コーディネータとしての知識とネットワークを活用した企業支援ができたらと思っています。

次の時代に向けた、企業内 ITC の意義と役割



北海道ガス株式会社

小林 雅樹

それは、白石区のとある焼き鳥屋での出来事がきっかけでした。その宴席に同席した、同区内に会社を構える IT 企業の社長とは昔からの知り合いで、その時も安酒を交わしながら昔話に花を咲かせておりました。そんな中、その社長から突然「IT コーディネーターって資格知ってる？」と聞かれ、「小林さんにピッタリの資格だと思うな。」と勧められた（そそのかされた？）のが、そもそもの始まりでした。

これまで IT 系の資格と言えば、国家資格である情報処理技術者資格しか頭になく、ITC は初めて聞く資格だったので詳しく聞いてみると、技術のみに偏らず、政策・戦略立案から実行後のモニタリングまで、システム開発を幅広く網羅しており、何より「企業（事業）の成長」を目的としているところがとても実践的だと感じ、その名称からは想像もできなかつた意外性もあって、自分の中で一気に興味が湧いてきました。私自身、長年企業のシステム部門で、ITC から見れば顧客の立場での業務を行ってききましたので、PGL の内容などは「そうそう！その通り！」という感じですねと入ってきました。しかしながら、実際にシステム開発をやっていた時分は、PGL にある原則を意識したことは無く、失敗しながら何となく身につけてしまった、というのが実感です。これだと手戻りや大失敗につながるリスクを常に抱え、さらには技術継承という観点からは、後進に対して効果的に伝えることも難しく、今振り返ってみても、とても体系だった業務とは言い難いものでした。こういうことを考え始めたのは、実はシステム部門を離れ、人事部門に異動してからのことでした。企業内の人材育成を考えるにあたり、まずは自分がどうであったかを振り返った際に、前述の状況が思い浮かび、反省しきりとなった次第です。

近年、「DX 人材をどう育てていくか？」が、企業共通の重要な課題となりつつあります。DX 人材の定義は企業の数だけ様々ではありますが、少なくとも「経営と IT との橋渡し役」を育てていかななくてはならないことは、共通の認識だと感じています。それも、ある特定の人にそのスキルを持ってもらうのではなく、これからの企業人は IT 企業でなくとも、全てこのスキルがなくては、そのうち機械 (AI) に仕事を取られてしまう、とさえ感じています。私が新卒入社した時代（平成初期）は、特定の社員がワープロで文書作成をしていましたが、今は役員を含め全社員が PC を使えなくては仕事になりません。それと同様の変化が起ころうとしているのではないのでしょうか。こうした考え方のもと、現在当社では ITC 資格を会社認定資格として、社員に広く取得を推奨しています。自分が取得した時は 20 数万の費用も当然自腹でしたが、今は（全額とはいきませんが…）会社が費用補助する仕組みも作りました。しかし、他の多くの資格に比べ初期投資（個人負担）が大きく、敬遠されがちなのは事実です。

昨年あたりから、我が国もやっとデジタル人材育成に力を入れ始めました。その機運に乗って、ITC 資格の国家資格化と、取得に対する国からの永続的な補助を求めるばかりです。そして多くの企業で ITC 資格が、DX 人材のベンチマークとして活用されることを切に望んでいます。

ITC 活動を振り返って

有限会社 IT マネジメントシステム
代表取締役 石塚 真彰



私は 2003 年に ITC の認定を頂いた、俗に言う「3 期生」の ITC でございます。

当時の ITC 広報パンフレットには坂本龍馬が使われており、ITC として独立した人を「脱藩者」と呼んでおりました。そして私はケース研修中に訳あって会社を辞め、北海道の「脱藩者」第一号だったような気がします。

どう活動しようか右も左もわからぬまま、当時の北海道コーディネータ協議会（以下、ITC 北海道）会長の村山さんに無理やりお願いして、ITSSP（IT ソリューション・スクエア・プロジェクト）における経営者研修のサブ講師として参加させて頂いた事が ITC 活動の始まりでした。

最近 ITC 資格を取得した皆様には大変申し訳なく思うほど、当時は ITSSP をはじめ、北海道 IT 経営応援隊や専門家派遣などが充実しており、研修講師・セミナー講師・IT 相談窓口・コンサルティングの経験をさせて頂くことが出来ました。

これらの活動の中で、諸先輩や同期の ITC と活動を共にすることも多く、色々勉強させて頂くことが出来ました。

ITC 活動を続けて行くにあたって、ITC 北海道の皆様の協力を仰ぐことも多く、私にとって ITC 北海道はかけがえのない会となっております。

今年度におきましても、某企業様からの相談で「見積書が高すぎるので見てもらえないか」との依頼を受けることがありました。見積書の内容そのものは「まあ、それくらいかかるかもしれませんね。単価は高いけど。」という内容でした。本質的な問題は見積書の金額ではなく、見積書の企画内容そのものにありました。ここでは詳細を書くことは出来ませんが、レガシーシステムの延命にこの金額を投資することが問題であり、最新のパッケージベースでのカスタマイズを提案することにしました。

そこで役立ったのが ITC 北海道のネットワークです。ITC 資格を持っている仲間として交流もあり信頼出来る IT ベンダー所属の方に、すぐさまメッセージで提案の依頼をし、この案件を快く引き受けて頂く事となりました。恐らく、この企業様の投資額は半減し、かつ、レガシーシステムからの脱却も可能となり、今後の成長に役立つシステムとなることでしょう。

独立系 ITC と致しましては、ITC 北海道のネットワークは大変心強いものであり、中小企業の DX 実現に向けて、独立系・ベンダー所属問わず協力することで、より良い成果を上げることが出来るものと思っております。今後とも宜しくお願い致します。

20th
Anniversary



データで見る ITC 北海道



ITC
Hokkaido

北海道ITコーディネータ協議会

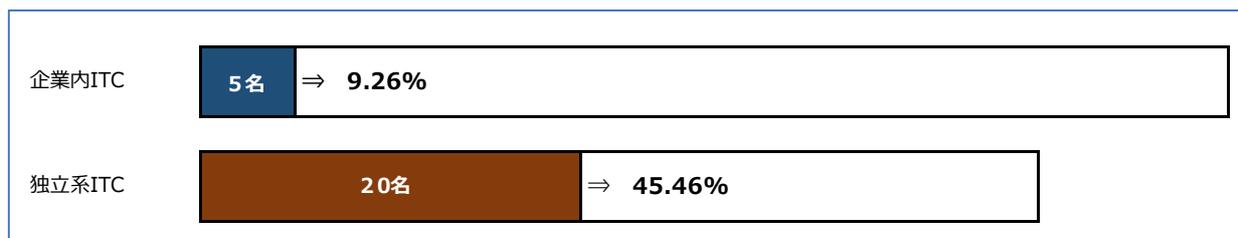


図-3. ITC 北海道 支援機関への専門家登録割合

(図-3) 様々な支援機関への専門家としての登録状況を見ると、圧倒的に独立系が多いものの、独立系内での登録者数は半数以下であり、支援機関との連携や協働が必ずしも十分機能していない様に思えます。理由については、今回採取したデータから覗く事は困難ですが、専門家登録を行う事への意義も含め、今後の課題であると思われます。

(図-4) 保有資格は情報処理技術系が最も多く、次いで中小企業診断士はじめ経営者への支援を行う国家資格や経営系資格、管理系、監査系資格の順となっています。

なお、ここで表す保有者数は延べ人数であり、資格の複数保有者も多く、非保有者との両極端な傾向が見られます。

分類	資格名	保有者数
国家資格	中小企業診断士	14
	行政書士	2
	税理士	1
	社会保険労務士	1
	技術士	1
経営系	MBA	4
	セルフアセッサー	3
情報処理技術系	プロジェクトマネージャ	10
	ITストラテジスト	8
	システム監査技術者	6
	システムアーキテクト	5
	ネットワークスペシャリスト	4
	データベーススペシャリスト	4
	情報処理安全確保支援士（登録セキスペ）	3
	エンベデッドシステムスペシャリスト	2
	ITサービスマネージャ	2
	上級Web解析士	2
管理系	PMP	3
監査系	ISMS審査員	2
	公認システム監査人	1
	CISA	1
	CIA	1

学位（経営学修士）

図-4. ITC 北海道 他資格保有者数

20th
Anniversary



歴代会長より



ITC
Hokkaido

北海道ITコーディネータ協議会

20周年記念誌に寄せて



北海道 IT コーディネータ協議会 相談役 赤羽 幸雄

2001年(平成13年)11月20日、札幌駅近くのホテルにおいて「北海道 IT コーディネータ情報連絡会(略称:ITC 北海道、2002年に北海道 IT コーディネータ協議会に名称変更)」の設立総会が開催されました。出席者は、第1期(10月15日)の IT コーディネータ資格認定者3名、ITC インストラクター3名、IT コーディネータ制度を推進する経済産業省北海道経済産業局情報政策課の課長と課長補佐の2名、ITC 北海道の事務局となる株式会社北海道ソフトウェア技術開発機構の専務取締役の合計9名でした。

“あの日”から20年の歳月が経過し、6名でスタートした ITC 北海道も現在は約110名の IT コーディネータ(ITC)が所属する組織に拡大し、創立二十周年を迎えました。この節目の時に ITC 北海道が創立当初に掲げた理念に立ち返り、その後の世界規模での経済環境の変化や技術進歩を冷静に見据え、時代の要請にマッチした ITC の役割や活動とは何かを再検討し、それを迅速に実践していかなければならない時だと思えます。

この20年間、中小企業の IT 利活用推進による経営革新(IT経営)の実現を支援する活動を関係機関と協力しながら実践してきましたが、IT経営やITコーディネータ制度そのものの認知度は必ずしも高くありません。また、北海道という広大な地域においての活動は、どうしても“点”の活動になりがちで“線”や“面”への展開が難しいことも実感してきました。

IT経営の実現に向けた支援において最も重要なのは“連携・協働”だと思います。

ITC 北海道に所属する ITC 同士の連携は勿論、地域の自治体や支援機関、業界団体、ITベンダー等とのコミュニケーションを密にし、これら地域組織等と ITC の“連携・協働”によって、地域の特性や資源を活かした IT経営を実現することが北海道経済、地域の活性化に大いに貢献するものと考えます。

また、“DX(デジタルトランスフォーメーション)”の進展によりデジタル活用のパラダイムシフトがおきており、IT経営(DX経営)の実現を担う ITC は、DX への取組みを先導するファシリテータ的存在になるべきとの使命感を強く感じております。

これからの10年は、さらに ITC 同士が力を合わせ、関係機関や団体等とこれまで以上に“連携・協働”し、地域の特性や資源を活かした IT経営(DX経営)の実現を支援する組織としての活動を継続・発展させて行くことを祈念しております。

DX時代への新たなスタートを迎えて



ITコーディネータ 阿部 裕樹

ITC 北海道も 20 周年を迎えることができました。これもひとえに関係機関の皆様のご支援、ご尽力の賜物と考えております。厚く御礼申し上げます。私は平成 25 年～29 年までの 2 期のあいだ、当協議会の会長を務めました。振り返ってみると当時からのわずかな短い期間の間にも我々を取り巻く環境は大きく変化しているように思います。

IT コーディネータ（以下 ITC）になるには、試験に合格することと合わせて、6 日間のケース研修を修了する必要があります。私は当該研修のインストラクターをしています。そこで感じるのは近年、ITC の大幅な若返りが生じていること。かつては ITC の中核の年代は 40 代が中心でした。経営者の相談相手になるコンサルタントとしての性格上、それなりの人生経験も必要とされるものと理解していました。ですが、最近では 30 代の方も多く、時には 20 代の方も研修に参加され、自分よりかなり年上のメンバーと対等に議論しています。能力さえあれば、経験に関係なく活躍できる時代になっているように思います。そして、女性の割合も年々、増加しており当協議会の雰囲気もかなり華やこまっています。

20 周年を迎える今、世の中では、DX（デジタル・トランスフォーメーション）という概念が注目されています。デジタル技術を活用して業務の効率化を行うだけにとどまらず、新しい付加価値、新しいビジネスモデルを創出していくことが求められています。日本の企業がイノベーションを起こし、国際市場で競争力を高めていくには必須の考え方となっています。また、人口減少社会における労働力不足という我が国ならではの最重要課題の解決にも DX は大きく貢献します。

我々 ITC は DX を推進するうえで最適な人材であると自負しています。今後、活躍される若い世代の皆様にはデジタル技術をフルに活用し、社会に新しい価値を生み出すための役割を担って頂くことを期待したいと思います。

設立 20 年の振り返りと今後の ITC 北海道の役割

北海道 IT コーディネータ協議会
事務局長 田坂 和大



北海道 IT コーディネータ協議会（以下 ITC 北海道）が設立して、早いもので 20 年の節目を迎える事が出来ました。2001 年 11 月 20 日に設立した当時は、僅か 6 名でスタートした ITC 北海道ですが、2022 年 5 月現在 102 名の会員数にまで成長しました。

これも、ITC 北海道会員をはじめ本部である特定非営利法人 IT コーディネータ協会、経済産業省や多くの支援機関および地方自治体の皆様のご支援とご協力による賜物です。心より感謝申し上げます。

さて、この 20 年を振り返ってみると、様々な出来事が沢山あったかと思います。上げるとキリがありません、また、我々を取り巻く経済環境、社会情勢、技術革新についても協議会設立当初には想像も出来ないくらい大きく変化しました。設立当初は、IT コーディネータの存在すら世間には全く知名度もなく、支援機関の関係者にも知っている方が殆どいませんでした。

20 年の時を経てようやく専門家としての認知度も向上していると感じています。私自身も IT コーディネータの資格取得を機会に独立し、独立系 ITC として様々な活動出来る機会を頂き、ITC 北海道の会長職を、平成 29～令和 2 年の 4 年間務めさせて頂きました、この経験において多くの学びと人脈を拡げる機会にも繋がりました。その間、会員の皆様や会役員の方々に支えられ任期を全うする事が出来ました。重ねて感謝申し上げます。

今まさに、「予測不能の時代」と言えると思います。ITC 北海道設立 20 周年を迎える事が出来ましたが、あくまで通過点と言えます。IT コーディネータの役割として、中小企業の経営者の立場に立ち、中小企業の成長を IT に拘らず、様々な情報や人脈、業界の垣根を超えたノウハウを用いて、当該企業の経営を支援する事が ITC の使命と言えます。

その為には、継続的な学びとあらゆる情報に対して貪欲に関心を持つことが重要であると思います。ITC 北海道はその様な学びの機会と人脈の拡大、情報の共有と発信の場と言えます。

最後に、事務局長として、市村会長のもと、ITC 北海道の活性化と ITC の更なる知名度向上に尽力して参ります。

20th
Anniversary



近年の活動紹介



ITC
Hokkaido

北海道ITコーディネータ協議会

2001年秋、すべてはここから始まった！！

ITコーディネータ制度は、通商産業省（現経済産業省）の産業構造審議会情報産業部会「人材対策小委員会」の提言に基づいて、平成13年（2001年）4月に発足したものであり、10月には第1期資格認定者（全国559名、北海道3名）が発表されました。



2001年10月16日日刊工業新聞

この事を契機に、現相談役である赤羽幸雄氏より「北海道 IT コーディネータ情報連絡会設立趣意書」が提起され、11月20日に設立総会を開催し、正式に北海道 IT コーディネータ情報連絡会（略称 ITC 北海道）が設立されました。

ITコーディネータ
道内の連絡会が発足
経営者の視点を持って、企業の情報技術IT
E化を支援する人材IT
コーディネータ（ITC）
の資格を持つ道内の
関係者による連絡会「IT
C北海道」の設立総会
が二十日、札幌市内の全
日空ホテルで開かれた。
ITCは、政府が進める
「e-Japan」戦略
の実現のために今春創設
された資格で、民間非営
利団体（NPO）が試験
と資格認定を行う民間資
格となっている。ITCと
経営の両方の知識を持つ
人材として、企業の情報
化のコンサルタントを
請け負う。国はITCを
企業に派遣しコンサル
ト料の一部を補助する
制度などで企業を支援す
る。問い合わせは事務局
の北海道ソフトウェア技
術開発機構011-8
16・9700へ。

2001年11月21日北海道新聞

2002年には正式名称を「北海道 IT コーディネータ協議会」、略称「ITC 北海道」へと改称し、本格的な活動が始まりました。「北海道 IT コーディネータ情報連絡会設立趣意書」と2010年度までの主な活動については、ITC 北海道のホームページよりダウンロードできますので、「北海道 IT コーディネータ協議会設立 10 周年記念誌」を是非御覧ください。

<https://itc-hokkaido.org/>

ここからは、2011年から道内主要都市にて開催している IT 経営カンファレンスを中心に、この 10 年間における主な活動と、協議会の運営に携わった役員をご紹介します。

2011 年度

(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

【主な活動】

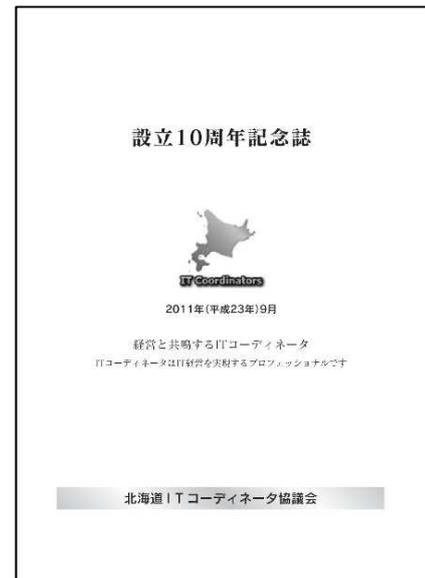
- ・食関連産業等高度 IT 利用モデル創出事業（北海道経済産業局）
- ・農商工連携等人材育成事業（全国中小企業団体中央会）
- ・中小企業支援ネットワーク強化事業（経済産業省）→ ITC によるコンサルティング、ビジネスマッチング、セミナー講師、顧客提案レベルアップ研修などを実施
- ・地域総合振興局との意見交換会→ 石狩振興局／渡島総合振興局／釧路総合振興局
- ・9/22 設立 10 周年記念事業

北海道 IT 経営カンファレンス 2011 （参加者：77 名）

【役員】

会長	赤羽 幸雄
副会長（総務委員長）	奥村 章
副会長（広報委員長）	宮崎 雅年
副会長（研修委員長）	阿部 裕樹
副会長（交流委員長）	石塚 真彰
副会長（ホームページ委員長）	辻 好博
会計	西能 和浩
監査役	笹山 喜市
顧問	八楸 幸信

【会員数】 98 名



設立 10 周年記念誌

2012 年度

(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

【主な活動】

- ・ 6/16～7/28 ITC ケース研修 5 名 (新ケース研修 集合 6 日間+ e ラーニング形式)
- ・ 11/7、12/13 ITC 向け知財セミナー (全 2 回)
- ・ 3/1 春季セミナー (6 次産業化)
- ・ 3/23 IPA との共催セミナー GQM+Strategies の紹介
(IPA 戦略意思決定プロセスの強化 WG より)

- ・ 産業支援型・生活支援型 I T 利活用方策検討事業 (北海道経済部)
- ・ 成長産業人材養成事業 (経済産業省北海道経済産業局)
- ・ 中小企業支援ネットワーク強化事業 (経済産業省)

【地域支部の誕生】

- ITC はこだて (道南支部)
- ITC 十勝 (十勝支部)
- ITC くしろ (釧路支部)

【役員】

- | | |
|-----------------|-------|
| 会長 | 赤羽 幸雄 |
| 副会長 (総務委員長) | 奥村 章 |
| 副会長 (広報委員長) | 宮崎 雅年 |
| 副会長 (研修委員長) | 阿部 裕樹 |
| 副会長 (交流委員長) | 石塚 真彰 |
| 副会長 (ホームページ委員長) | 辻 好博 |
| 会計 | 西能 和浩 |
| 監査役 | 笹山 喜市 |
| 顧問 | 八鍬 幸信 |

【会員数】 107 名



ITCA 機関紙に掲載された赤羽会長
「架け橋」2012 vol.13

2014年度

(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

【主な活動】

- ・ 7/12～8/30 ITC ケース研修 9 名
(4/24 資格取得説明会 独立系、企業内から ITC が 1 名ずつ説明)
- ・ 11/25 北海道 IT 経営カンファレンス 2014 in くしろ
～ICT 利活用と観光への取組～ (参加者：90 名)
- ・ 札幌市 IT 利活用促進事業費補助事業 (3 回までの無料コンサルティング)
(登録 ITC 11 名) → 支援企業 12 社中、補助金申請 9 社
- ・ 攻めの IT 経営中小企業百選 (経済産業省)
(IT 経営力大賞の後継事業として、3 年間で百社程度認定)
- ・ 札幌市 IT イノベーション研究会の後援
- ・ HAKODATE Developer Conference の後援
- ・ 北海道地域情報セキュリティ連絡会 (HAISL) への参画 (第 2 回、第 3 回)



北海道 IT 経営カンファレンス 2014 in くしろ

【役員】

会長	阿部 裕樹
副会長 (総務委員長)	橋本 潤
副会長 (広報委員長)	伊与 滋
副会長 (研修委員長)	田坂 和大
副会長 (交流委員長)	菊田 幸明
副会長 (ホームページ委員長)	高田 聡史
事務局長	石塚 真彰
会計	西能 和浩
監査役	宮崎 雅年
顧問	八鍬 幸信
相談役	赤羽 幸雄

【会員数】 112 名



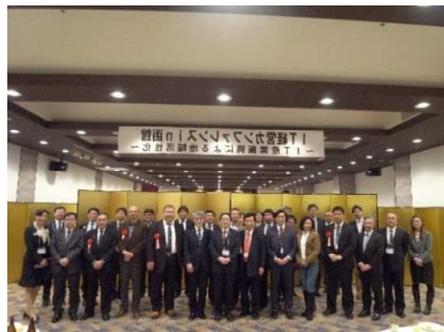
札幌市 IT イノベーション研究会

2015年度

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

【主な活動】

- ・ 7/11～8/12 ITC ケース研修 12 名 (4/15 資格取得説明会 ITC 3 名が説明)
- ・ 2/10 北海道 IT 経営カンファレンス in 函館
～IT 産業振興による地域活性化～ (参加者：60 名)
- ・ 2/25 ITC 四国との交流会 (札幌イノベーションセミナー終了後)
- ・ 札幌市 IT 利活用促進事業費補助事業 (登録 ITC 10 名)
- ・ 札幌市 I T イノベーションセミナーの後援
- ・ 北海道ヘルスケア産業振興協議会への参画
- ・ ITC 北海道定例勉強会の実施 (7 回開催)
- ・ HAKODATE Developer Conference2015 の後援
- ・ 北海道地域情報セキュリティ連絡会 (HAISL) への参加 (第 3 回～第 5 回)



北海道 IT 経営カンファレンス in 函館

【役員】

会長	阿部 裕樹
副会長 (総務委員長)	西能 和浩
副会長 (広報委員長)	伊与 滋
副会長 (研修委員長)	田坂 和大
副会長 (交流委員長)	菊田 幸明
副会長 (ホームページ委員長)	市村 淳一
事務局長	石塚 真彰
会計	伊藤 宏
監査役	宮崎 雅年
顧問	八鍬 幸信
相談役	赤羽 幸雄



カンファレンス開催報告 (定時総会にて)

【会員数】 107 名

2016年度

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

【主な活動】

- ・ 7/9～8/20 ITC ケース研修 7 名 (4/25 資格取得説明会 ITC 3 名が説明)
- ・ 11/28 北海道 IT 経営カンファレンス in 旭川 (参加者：81 名)
～北から起こす IT とイノベーションの融合～
- ・ 札幌市 IT 利活用促進事業費補助事業 (登録 ITC 9 名)
- ・ 札幌市 IT イノベーションセミナーの後援
- ・ ITC 北海道定例勉強会の実施 (3 回開催)
- ・ HAKODATE Developer Conference2016 の後援
- ・ 北海道地域情報セキュリティ連絡会 (HAISL) への参加 (第 7 回、第 8 回)



定時総会後の講演会と懇親会



【役員】

会長	阿部 裕樹
副会長 (総務委員長)	西能 和浩
副会長 (広報委員長)	伊与 滋
副会長 (研修委員長)	田坂 和大
副会長 (交流委員長)	菊田 幸明
副会長 (ホームページ委員長)	市村 淳一
事務局長	石塚 真彰
会計	伊藤 宏
監査役	宮崎 雅年
顧問	八鍬 幸信
相談役	赤羽 幸雄

【会員数】 107 名



ITCA 機関紙に掲載された阿部会長「架け橋」2017 vol.22

2017年度

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

【主な活動】

- ・ 4/28 中小企業庁プラス IT フェア開催協力
- ・ 5/8 ITC 協会の「第 2 創業計画」に対する提案の提出
- ・ 5/16 東京 FinGateKAYABA にて「IT コーディネータの未来をともに語る会」
(市村副会長出席)
- ・ 7/6～8/19 ITC ケース研修 10 名 (4/26 資格取得説明会 ITC 3 名が説明)
- ・ 10/18 **設立 15 周年記念事業**
北海道 IT 経営カンファレンス 2017 in 札幌
～高利益率の企業の共通点～“生産性向上の取組とは” (参加者：140 名)
- ・ 12/12 札幌市 IT イノベーション研究会の後援
- ・ 2/27 中小企業クラウド活用事例コンテスト in 北海道の後援 (釧路にて)
- ・ 3/3 札幌市 IT イノベーション研究会の後援
- ・ 札幌市 IT 利活用促進事業費補助事業 (登録 ITC 9 名)
- ・ 札幌市 IT イノベーションセミナーの後援
- ・ ITC 北海道定例勉強会の実施 (4 回開催)
- ・ 北海道地域情報セキュリティ連絡会 (HAISL) への参加 (第 9 回、第 10 回)

【役員】

会長	田坂 和夫
副会長 (総務委員長)	西能 和浩
副会長 (広報委員長)	葛西 秀昭
副会長 (研修委員長)	伊藤 宏
副会長 (交流委員長)	伊与 滋
副会長 (ホムページ委員長)	市村 淳一
事務局長	阿部 裕樹
会計	江田 耕児
監査役	石塚 真彰
顧問	平本 健太
相談役	赤羽 幸雄

【会員数】 112 名



ITC 北海道の新リーフレットと
ITCA 機関紙に掲載された田坂会長
「架け橋」2018 vol.24



北海道 IT 経営
カンファレンス
2017 in 札幌
と懇労会



2018年度

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

【主な活動】

- ・ 5/29 IT推進協会 2019年度定時総会後の懇親会参加
(葛西、伊与副会長出席)
- ・ 7/7～8/18 ITC ケース研修 3名 (3/28 資格取得説明会 ITC 3名が説明)
- ・ 7/12 特定非営利法人日本プロジェクトマネジメント協会「北海道PMセミナー2019」の協賛
- ・ 7/18～19 日経BP社主催「札幌デジタルイノベーション2019」の後援
- ・ 10/24 **北海道IT経営カンファレンス2018 in くしろ**
～IoT活用による道東観光のイノベーション～ (参加者：77名)
- ・ 札幌市 IT 利活用促進事業費補助事業 (登録 ITC 6名)
- ・ ITC 北海道定例勉強会の実施 (3回開催)
- ・ 札幌市 IT イノベーションセミナーの後援
- ・ 札幌市 IoT イノベーション推進コンソーシアムの後援



【役員】

北海道IT経営カンファレンス2018 in くしろ

会長	田坂 和大
副会長 (総務委員長)	市村 淳一
副会長 (広報委員長)	葛西 秀昭
副会長 (研修委員長)	伊藤 宏
副会長 (交流委員長)	伊与 滋
副会長 (ホームページ委員長)	西能 和浩
事務局長	阿部 裕樹
会計	江田 耕児
監査役	石塚 真彰
顧問	平本 健太
相談役	赤羽 幸雄

【会員数】 96名

(会費未納者、連絡不通者等を整理したため減員)

ITCA 機関紙に掲載された中島 ITC
「架け橋」2019 vol.26

【主な活動】

- ・7/6～8/17 ITC ケース研修 6名 (4/22 資格取得説明会 ITC 5名が説明)
- ・10/4 北海道IT経営カンファレンス2019 in 十勝
～ICTで十勝の可能性を俯瞰する～ (参加者：79名)
- ・2/5～6 IT経営カンファレンス2020 in 沖縄への参加 (ITC 北海道より7名参加)
- ・札幌市IT利活用促進事業費補助事業 (登録ITC 6名)
- ・函館市専門家派遣型IT活用支援事業 (登録ITC 2名)
- ・ITC北海道定例勉強会の実施 (3回開催)
- ・札幌市ITイノベーションセミナーの後援
- ・札幌市IoTイノベーション推進コンソーシアムの後援

【役員】

会長	田坂 和夫
副会長 (総務委員長)	市村 淳一
副会長 (広報委員長)	葛西 秀昭
副会長 (研修委員長)	伊藤 宏
副会長 (交流委員長)	伊与 滋
副会長 (ホームページ委員長)	堀 直樹
事務局長	阿部 裕樹
会計	西能 和浩
監査役	石塚 真彰
顧問	平本 健太
相談役	赤羽 幸雄



ITCA 機関紙に掲載された城宝 ITC
「架け橋」2020 vol.28

【会員数】 90名 (前年に引き続き、会費未納者、連絡不通者等を整理したため減員)

2020年度

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

【主な活動】

- ・7/4～8/22 ITC ケース研修 12名 (4/6 Zoomにて資格取得説明会 ITC 5名が説明)
 - ・9/4 ITC 北海道秋季セミナー 参加者 27名
 - ・11/11 一般社団法人クラウド活用・地域ICT 投資促進協議会 主催
「CLOUD INITIATIVE2020 全国中小企業クラウド実践大賞」の後援
 - ・12/7 北海道 IT 経営カンファレンス2020 in 函館
(新型コロナウイルス感染急拡大により 中止)
 - ・3/23 ITC くしろ主催セミナー (リアル&オンライン)
-
- ・札幌市 IT 利活用促進事業費補助事業→ 中止
 - ・函館市専門家派遣型 IT 活用支援事業 (登録 ITC 2名)
 - ・ITC 北海道定例勉強会の実施 (Zoomにて2回開催)
 - ・札幌市 IT イノベーションセミナーの後援
 - ・札幌市 IoT イノベーション推進コンソーシアムの後援

【役員】

会長	田坂 和大
副会長 (総務委員長)	市村 淳一
副会長 (広報委員長)	葛西 秀昭
副会長 (研修委員長)	伊藤 宏
副会長 (交流委員長)	伊与 滋
副会長 (ホームページ委員長)	堀 直樹
事務局長	阿部 裕樹
会計	西能 和浩
監査役	石塚 真彰
顧問	平本 健太
相談役	赤羽 幸雄

新型コロナウイルス感染症 (Covid-19) の世界的な感染拡大により、カンファレンスやセミナー等、リアル対面型での開催が数多く中止・延期となった一方で、様々なコミュニケーションツールを活用したオンラインでの開催が加速・浸透し、新しい「働き方」と「つながり」がひろがることにもなりました。

【会員数】 105名

2021年度

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

【主な活動】

- ・ 5/4～7/17 ITC ケース研修 (第一期) 9名 (オンライン開催)
- ・ 9/8 ものづくり補助金 (ビジネスモデル型) 参加企業募集事業説明会
食産業 DX 経営推進セミナー 参加者 27名
- ・ 11/27～1/29 ITC ケース研修 (第二期) 3名 (オンライン開催)
(4/6 Zoom にて資格取得説明会 ITC 3名が説明)
- ・ 公益財団法人北海道科学技術総合振興センター 後援セミナー/協力ワークショップ
10/6 スマートものづくり導入促進フォーラム
10/22～11/15 のうち 4日間 デジタル変革提案書策定ワークショップ
- ・ 10/15 **北海道 IT 経営カンファレンス 2021 in 函館** (ハイブリッド開催)
～コロナ禍だからこそ道南 DX を目指す!～ (参加者: 122名)
- ・ 札幌市 IT 利活用促進事業費補助事業
- ・ 函館市専門家派遣型 IT・ロボット等活用支援事業 (登録 ITC 2名)
- ・ ITC 北海道定例勉強会の実施 (Zoom にて 4回開催)



北海道 IT 経営
カンファレンス
2021
in 函館



【地域支部の新設】ITC 苫小牧 (胆振支部)

【役員】

会長	市村 淳一
副会長 (総務委員長)	葛西 秀昭
副会長 (広報委員長)	伊与 滋
副会長 (研修委員長)	中島 秀幸
副会長 (交流委員長)	城宝 孝志
副会長 (ホームページ委員長)	堀 直樹
事務局長	田坂 和大
会計	西能 和浩
監査役	阿部 裕樹
顧問	平本 健太
相談役	赤羽 幸雄

【会員数】 102名



ITCA 機関紙に掲載された市村会長
「架け橋」2022.vol32

2011年度～2021年度に開催したIT経営カンファレンス案内チラシ

北海道ITコーディネータ協議会 設立10周年記念セミナー 北海道IT経営カンファレンス2011

2011年9月22日(水) 13:30～17:30(受付開始13:00)
ホテル札幌ガーデンパレス 2階
定員100名(事前申込参加無料)

【開催趣旨】ITコーディネータ協議会では、創設10周年記念セミナーとして「2011年IT経営カンファレンス2011」を開催する。本日は、企業経営にITがもたらす影響や、IT活用による地域活性化の推進策などについて、IT活用推進の第一人者から講演いただく。また、IT活用推進の第一人者から講演いただく。また、IT活用推進の第一人者から講演いただく。

時間	プログラム
13:30	主催者挨拶 北海道ITコーディネータ協議会 会長 藤田 幸雄
13:35	基調講演 経営革新を促すIT活用推進策 北海道ITコーディネータ協議会 会長 藤田 幸一 様
13:50	【記念講演】 ITコーディネータ協議会10周年記念講演(15分)
14:00	経営革新推進者 北海道ITコーディネータ協議会 会長 藤田 幸一 様
14:10	【特別講演】 中小企業向けIT活用推進策 「中小企業向けIT活用推進策」 北海道ITコーディネータ協議会 会長 藤田 幸一 様
14:40	株式会社 志のまじりITソリューションズ(代表取締役社長 木下 博司 様)
15:00	【基調講演】 経営革新を促すIT活用推進策 「経営革新を促すIT活用推進策」 北海道ITコーディネータ協議会 会長 藤田 幸一 様
15:10	【特別講演】 中小企業向けIT活用推進策 「中小企業向けIT活用推進策」 北海道ITコーディネータ協議会 会長 藤田 幸一 様
17:10	【特別講演】 中小企業向けIT活用推進策 「中小企業向けIT活用推進策」 北海道ITコーディネータ協議会 会長 藤田 幸一 様

【参加申込方法】 参加費は無料です。参加申込書と参加券を、郵送またはFAXにてお申し込みください。お申し込みは、お申し込みの受付時間までです。お申し込みの受付時間は、お申し込みの受付時間までです。お申し込みの受付時間は、お申し込みの受付時間までです。

〒060-0808 札幌市中央区南一条西五丁目1番1号 北海道ITコーディネータ協議会 事務局
TEL:011-542-1100 FAX:011-542-1101
E-mail: info@itc-hokkaido.org URL: http://www.itc-hokkaido.org

ITC十勝 設立記念 ～北海道IT経営カンファレンス2013 in 帯広～

【ITを通じて働く十勝の未来、未来の十勝】

本カンファレンスでは、十勝地域の中心となる中小企業に、IT活用推進の第一人者から講演いただく。また、IT活用推進の第一人者から講演いただく。また、IT活用推進の第一人者から講演いただく。

【開催趣旨】ITコーディネータ協議会では、創設10周年記念セミナーとして「2011年IT経営カンファレンス2011」を開催する。本日は、企業経営にITがもたらす影響や、IT活用による地域活性化の推進策などについて、IT活用推進の第一人者から講演いただく。また、IT活用推進の第一人者から講演いただく。また、IT活用推進の第一人者から講演いただく。

時間	プログラム
13:30	主催者挨拶 北海道ITコーディネータ協議会 会長 藤田 幸雄
13:35	基調講演 経営革新を促すIT活用推進策 北海道ITコーディネータ協議会 会長 藤田 幸一 様
13:50	【記念講演】 ITコーディネータ協議会10周年記念講演(15分)
14:00	経営革新推進者 北海道ITコーディネータ協議会 会長 藤田 幸一 様
14:10	【特別講演】 中小企業向けIT活用推進策 「中小企業向けIT活用推進策」 北海道ITコーディネータ協議会 会長 藤田 幸一 様
14:40	株式会社 志のまじりITソリューションズ(代表取締役社長 木下 博司 様)
15:00	【基調講演】 経営革新を促すIT活用推進策 「経営革新を促すIT活用推進策」 北海道ITコーディネータ協議会 会長 藤田 幸一 様
15:10	【特別講演】 中小企業向けIT活用推進策 「中小企業向けIT活用推進策」 北海道ITコーディネータ協議会 会長 藤田 幸一 様
17:10	【特別講演】 中小企業向けIT活用推進策 「中小企業向けIT活用推進策」 北海道ITコーディネータ協議会 会長 藤田 幸一 様

【参加申込方法】 参加費は無料です。参加申込書と参加券を、郵送またはFAXにてお申し込みください。お申し込みは、お申し込みの受付時間までです。お申し込みの受付時間は、お申し込みの受付時間までです。お申し込みの受付時間は、お申し込みの受付時間までです。

〒060-0808 札幌市中央区南一条西五丁目1番1号 北海道ITコーディネータ協議会 事務局
TEL:011-542-1100 FAX:011-542-1101
E-mail: info@itc-hokkaido.org URL: http://www.itc-hokkaido.org

ITC 北海道IT経営カンファレンス 2014 in くしろ

～ICT活用と観光への取組～

【開催趣旨】ITコーディネータ協議会では、創設10周年記念セミナーとして「2011年IT経営カンファレンス2011」を開催する。本日は、企業経営にITがもたらす影響や、IT活用による地域活性化の推進策などについて、IT活用推進の第一人者から講演いただく。また、IT活用推進の第一人者から講演いただく。また、IT活用推進の第一人者から講演いただく。

【開催趣旨】ITコーディネータ協議会では、創設10周年記念セミナーとして「2011年IT経営カンファレンス2011」を開催する。本日は、企業経営にITがもたらす影響や、IT活用による地域活性化の推進策などについて、IT活用推進の第一人者から講演いただく。また、IT活用推進の第一人者から講演いただく。また、IT活用推進の第一人者から講演いただく。

【開催趣旨】ITコーディネータ協議会では、創設10周年記念セミナーとして「2011年IT経営カンファレンス2011」を開催する。本日は、企業経営にITがもたらす影響や、IT活用による地域活性化の推進策などについて、IT活用推進の第一人者から講演いただく。また、IT活用推進の第一人者から講演いただく。また、IT活用推進の第一人者から講演いただく。

IT経営カンファレンス in 函館

～IT産業振興による地域活性化～

2016年
2月10日(水)
13:30～18:00(受付13:00)
18:30～20:00

会場: ホテル函館ロイヤル
2F ゴールデンホール
〒041-0801 函館市本町1-1-1
参加無料(事前申込)

【開催趣旨】ITコーディネータ協議会では、創設10周年記念セミナーとして「2011年IT経営カンファレンス2011」を開催する。本日は、企業経営にITがもたらす影響や、IT活用による地域活性化の推進策などについて、IT活用推進の第一人者から講演いただく。また、IT活用推進の第一人者から講演いただく。また、IT活用推進の第一人者から講演いただく。

IT経営カンファレンス in 旭川

～北から起こすITとイノベーションの融合～

2016年
11月28日(日)
13:30～18:00(受付13:00)
18:30～20:00

会場: 旭川グランドホテル
2階のホール
〒070-0001 旭川市南一条西五丁目1番1号
参加無料(事前申込)

【開催趣旨】ITコーディネータ協議会では、創設10周年記念セミナーとして「2011年IT経営カンファレンス2011」を開催する。本日は、企業経営にITがもたらす影響や、IT活用による地域活性化の推進策などについて、IT活用推進の第一人者から講演いただく。また、IT活用推進の第一人者から講演いただく。また、IT活用推進の第一人者から講演いただく。

北海道IT経営カンファレンス

～ICT活用と観光への取組～

2017 in 札幌

【開催趣旨】ITコーディネータ協議会では、創設10周年記念セミナーとして「2011年IT経営カンファレンス2011」を開催する。本日は、企業経営にITがもたらす影響や、IT活用による地域活性化の推進策などについて、IT活用推進の第一人者から講演いただく。また、IT活用推進の第一人者から講演いただく。また、IT活用推進の第一人者から講演いただく。

ITC 北海道IT経営カンファレンス 2018 in くしろ

～IoT活用による道東観光のイノベーション～

【開催趣旨】ITコーディネータ協議会では、創設10周年記念セミナーとして「2011年IT経営カンファレンス2011」を開催する。本日は、企業経営にITがもたらす影響や、IT活用による地域活性化の推進策などについて、IT活用推進の第一人者から講演いただく。また、IT活用推進の第一人者から講演いただく。また、IT活用推進の第一人者から講演いただく。

北海道IT経営カンファレンス 2019 in 十勝

～ICTで十勝の可能性を創る～

【開催趣旨】ITコーディネータ協議会では、創設10周年記念セミナーとして「2011年IT経営カンファレンス2011」を開催する。本日は、企業経営にITがもたらす影響や、IT活用による地域活性化の推進策などについて、IT活用推進の第一人者から講演いただく。また、IT活用推進の第一人者から講演いただく。また、IT活用推進の第一人者から講演いただく。

in 函館 HAKODATE IT経営カンファレンス 2021

～IoT活用による道東観光のイノベーション～

【開催趣旨】ITコーディネータ協議会では、創設10周年記念セミナーとして「2011年IT経営カンファレンス2011」を開催する。本日は、企業経営にITがもたらす影響や、IT活用による地域活性化の推進策などについて、IT活用推進の第一人者から講演いただく。また、IT活用推進の第一人者から講演いただく。また、IT活用推進の第一人者から講演いただく。

【主な活動予定】

- ・ ITC ケース研修 (申込者 8 名)
- ・ 北海道 DX 推進協働体 (地域 DX 促進活動支援事業)
- ・ 札幌市デジタル化促進に関する IT 利活用専門アドバイザー派遣 (IT 利活用促進事業の後継版)
- ・ 函館市専門家派遣型 IT・ロボット等活用支援事業 (登録 ITC 3 名)
- ・ ITC 北海道定例勉強会の実施 (4 回開催予定)
- ・ ITCA 野村新会長との意見交換会

10/14 設立 20 周年記念セミナー

北海道 IT 経営カンファレンス 2022 in 札幌
～DX 時代、北海道の未来を切り開く～



20 周年記念イベント実行委員会の集合メンバーと作戦会議

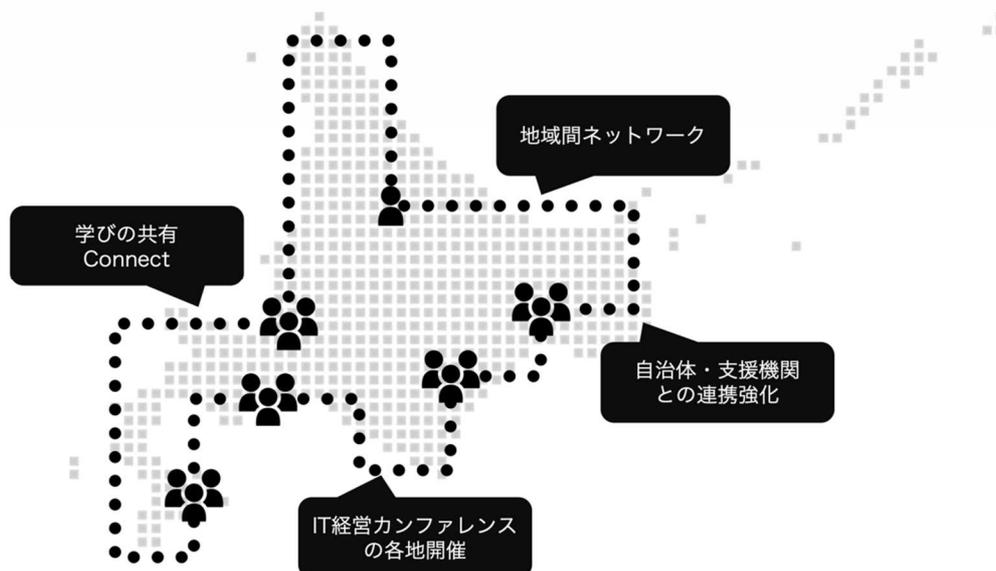
北海道 IT 経営カンファレンス 2022 in 札幌

DX時代、北海道の 未来を切り開く

～ 今こそITを経営の力に ～



ITコーディネータとしての存在意義を高め
繋がった“線”を“面”にして、北海道内の
中小企業・小規模事業者を広く支援できる組織



2022年度 役員構成

役職名	氏名	所属
会長	市村 淳一	(株) ミュートネット 代表取締役
副会長 総務委員長	葛西 秀昭	UX戦略研究所 代表
副会長 広報委員長	小玉 泰久	(株) KITS 代表取締役
副会長 研修委員長	中島 秀幸	(株) サンエス・マネジメント・システムズ 常務取締役
副会長 交流委員長	堀 直樹	(株) アクナレッジメント 代表取締役
副会長 ホームページ委員長	城宝 孝志	(株) キャストレ 代表取締役
事務局長	田坂 和大	(有) B・Pサポート 代表取締役
会計	伊与 滋	(株) エスアイピー 代表取締役
監査役	阿部 裕樹	(有) ブレイズ・ワン 代表取締役
顧問	平本 健太	北海道大学大学院経済学研究科 教授
相談役	赤羽 幸雄	札幌学院大学 経営学部 客員教授 戦略経営ネットワーク協同組合 理事長

20th
Anniversary



協賛企業広告



ITC
Hokkaido

北海道ITコーディネータ協議会

あらためて

企業・団体・支援機関のみなさまへ

ITコーディネータとは？

システムを作る人？

パソコンに詳しい人？

ITを上手に使って経営力を高めるために お手伝いする専門家です

デジタル時代の経営をナビゲートするITコーディネータ。
経営改革やDXの推進、IoT/AI、ネット活用、ITツールの選択など、
多様な領域に対応し、成果を出すお手伝いをしています。



対話の中で新たな発見や気づきの機会を提供します

ITコーディネータの主な役割



ITコーディネータ活用の成果は？(全国の声)

「取扱量の増加とともに、業務管理が必要でした。ITの活用が有効とわかり、新たな仕組みづくりができました」

福祉業

「社員が主体的に進める改善プロジェクトのサポートをお願いしています。自ら考え意見を出し実行できる風土に変わりつつあります」

製造・サービス業

「IoTを用いた作業記録の自動化を推進しています。小さく初めて改善しながら進める方法を学びました」

製造業

「販売と同時に在庫引き落としもできるPOSレジ導入をアドバイスいただき、IT化で捻出した時間を使い店舗改善を行っています」

小売業

※IT経営マガジン「COMPASS」掲載事例より

DATAでみるITコーディネータ

●資格取得者は6500人！
中小企業が頼むのは
独立系の人が多い

約6500人



ITC資格取得者がいる
ITベンダーは話が通じやすい

●全国にいる！

全国で活動、
地域や活動内容ごとに
100以上の組織を形成



●中小企業との
接点ベスト3

- 1 自らの活動において
- 2 公的な支援機関経由で
- 3 金融機関経由で

活用ハンドブック
配付中



お問い合わせは
ITコーディネータ協会へ





2022
健康経営優良法人
Health and productivity
ブライツ500

「健康経営優良法人2022
ブライツ500（中小規模法人部門）」に
2年連続で認定されました。

Kond 株式会社 **近藤商会**

函館市西桔梗町 589 番地 <https://www.kond.co.jp>

在籍する3名のITコーディネータが、中小企業のDX推進を支援します！

私たちは、デジタル技術を活用した新たな価値創造を通じて、より良い商品、サービスを提供しお客様と地域の課題解決に貢献する企業です

SEMS
SanEsu Management Systems



サンエスグループ

株式会社サンエス・マネジメント・システムス

釧路市末広町10丁目1-6 サンエス釧路駅前ビル3F
☎0154-52-0012 <https://www.sems.co.jp>

～くしろ管内8市町村の観光AIコンシェルジュ～
くしろ観光案内チャットボット Jorge





お客様の声をカタチにする。

地域に必要とされる IT 企業を目指して

株式会社ミュートネットはITコーディネータが複数名在籍する道南でも数少ないベンダー企業として、ITの活用はもとよりお客様の課題全般を分析し、経営戦略の策定段階からお手伝いさせていただいております。

ITに関わるハード、ソフトの導入からトラブルサポートまで、企業が持続的に成長していくためのDX経営支援をワンストップで行っております。

様々なノウハウをご提案・ご提供する地域密着型のIT企業としてこれからも歩んでまいります。



株式会社ミュートネット

〒041-1112 北海道亀田郡七飯町鳴川5-12-9
(代)TEL.0138-66-2201 FAX.0138-66-2202
[Mail] email@mutenet.co.jp [URL] https://www.mutenet.co.jp/



ITコーディネータが企業の成長を支援します。

ITコーディネータは
経済産業省推奨資格です。



認定番号 0027222004C

〒064-0810 札幌市中央区南 10 条西 16 丁目 3-20 URL : http://www.bpsup.co.jp/
プログレスコート 参番館 201 E-mail : info@bpsup.co.jp

TEL(011)211-5510

FAX(011)211-5515



流通×テクノロジーで
北海道の生産者と消費者の暮らしを豊かに



商品発注などの企業間商取引情報のデジタル化、EDI化をご支援します

株式会社イー Craftマン

〒060-0003
札幌市中央区北3条西18丁目2-10
TEL : 011-640-7200
https://www.ecraftman.com/

5名のITコーディネータが中小企業の経営課題解決、DX推進をサポートします



デジタル時代を共創する！



株式会社 エスアイピー

代表取締役 伊与 滋

わたしたちはITを通じて、お客様をはじめとする全ての関係者とともに、豊かで笑顔のある社会づくりに貢献します



〒003-0002 札幌市白石区東札幌2条3丁目2-25 INSビル

Tel:011-842-5847 Fax:011-842-5851

<https://www.sipnet.co.jp>



KAWATA HIROHITO

川田博仁税理士事務所

税理士 川田博仁

ITコーディネータ(認定No.0026112002C)

〒040-0073 函館市宮前町30番2号

セイコービル 4階

TEL. (0138) 44-0001

FAX. (0138) 44-0002

デジタル化・DX 経営への対応や経営強靱化対策に貢献する専門家集団

戦略★経営
NETWORK

戦略経営ネットワーク協同組合 (認定経営革新等支援機関/官公需適格組合)

理事長 赤羽 幸雄 (IT コーディネータ)

〒003-0029 札幌市白石区平和通9丁目北1番29号

電話/011-861-4800 FAX/011-864-1212

Email/info@senryakukeiei.net URL/http://www.senryakukeiei.net



あなたの会社とITの架け橋になります

BLUESHEEP
株式会社

代表取締役 杉本 英範

〒064-0914 札幌市中央区南14条西8丁目3-18-210
シティーコート14

<https://blue-sheep.jp>



Global
Partners
Technology

株式会社 グローバル・パートナーズ・テクノロジー

この国のシステム発注の常識を変える

「CIOアウトソーサー」日本代表

<https://gptech.jp/>



～御礼～

「北海道 IT 経営カンファレンス 2022 in 札幌」の開催趣旨にご賛同いただき、ご協賛を賜りました各企業様に対して、厚く御礼申し上げます。

なお、個人枠で協賛頂いた方について、以下の通りご芳名を紹介させていただきます。大変ありがとうございました。

田坂 和大 様
伊与 滋 様
西能 和浩 様
渡辺 恵士郎 様

～編集後記～

少し前に「10 周年記念誌」を作ったばかりなのに、もう 20 周年にもなるのか、光陰矢の如し・・・と耽っていたところ、気づいたら「20 周年記念誌」の編集・製作に再び関わることになりました。

この 10 年間、いや更にそれ以前から IT の世界は次から次へと新たな技術やマインドが生み出され、発展し、変化を続けてきました。利用する側の経営者様においては、自らが先頭に立って変化にキャッチアップし、IT を自社の変革と成長に取り入れよう、との戦略家もいれば、世に飛び交うバズワードなどには目もくれず耳も塞ぎ、ひらすら旧態依然とした経営スタイルを守り抜く方もおられます。

ここでどちらが良いのか、悪いのかを論ずることはしませんが、もしも経営者の方が、「経営変革」という言葉に何かしら心に刺さるものを感じたら、「IT コーディネータ (ITC)」というものの存在を思い出して頂きたいと思います。

ITC 北海道に所属する ITC は、ひとりひとり「点」での活動はもとより、勉強会や道内各地域での IT 経営カンファレンスなどを通じて、ITC 同士の知見を共有し、新たな気づきや学びに研究心を持ち、経営者様への支援に資するための横連携での努力を日々重ねています。特に、東日本大震災があった 2011 年からは、10 周年記念事業となる「北海道 IT 経営カンファレンス」を皮切りに、道内主要都市を巡る形で、「点」から「線」への繋がりを重視して参りました。

今後は、「線」から「面」への拡大を図り、北海道内の企業および経営者様をくまなくご支援し続けられる「ITC 北海道」として、更に成長できるよう、研鑽と実践を継続して参ります。

最後になりましたが、今回「20 周年記念誌」を製作するにあたっては、行政はじめ関係機関の皆様、道外 ITC の皆様、所属 ITC の皆様から沢山の寄稿を頂きました。ご多忙中にも関わらず締切厳守に応じて頂き、大変感謝しております。誠に有難うございました。

おかげさまで無事 20 周年記念誌を発行できましたことに、深く厚く御礼申し上げます。

2022 年 10 月 14 日
北海道 IT コーディネータ協議会
20 周年実行委員会
記念誌 WG